

体と心を健康に。  
地域に元気を発信する広報誌。

〈特集〉

# 愛宕病院でできる 不妊治療

～不妊・生殖内分泌外来～

2015 夏号  
8月発行

ご自由にお取りください

名誉院長兼集中治療部長 武田 明雄

**愛宕病院名誉院長就任にあたって**

健康ワンポイント

**熱中症に注意**

各課・各部の紹介

**愛宕DMAT**

**活動報告**

愛 LOVE クッキング

**旬の食材で夏バテ防止**

あたごINFO



〈特集〉

# 愛宕病院でできる不妊治療

## ～不妊・生殖内分泌外来～



愛宕病院院長  
内海 善夫

### 「不妊治療」を高知で続けて

九州大学医学部婦人科産科学教室より、平成3年高知県立中央病院に着任。二年間勤務の後、平成5年3月愛宕病院に婦人科を開設し、現在まで不妊生殖内分泌を中心とした診療を続けてきました。

平成4年、高知で初めて腹腔鏡下胆のう摘出術に先立ち、腹腔鏡下での子宮外妊娠手術を成功させ、平成5年にはやはり高知で最初の体外受精胚移

植法の妊娠に成功。以来婦人科での腹腔鏡検査手術は1000件以上。特に不妊症・不育症での手術療法を中心に行ってきましたが、最近はその時代の変遷により、次第に体外受精を中心とした療法に軸足が移ってきました。婦人科開設後、一日の外来患者が一ケタ台から次第に増加し、治療の結果誕生した子供は20年間で約3000人以上となり、高知県の出生率低下の歯止めにも少しでも貢献したものと自負しております。高知県の年間出生数の約2.5%から3%は愛宕病院の不妊外来によって授かった生命です。

高知県での妊娠第1号はすでに社会に巣立っており、今後さらに社会に貢献する社会人が続々と巣立っていくことでしょう。

しかし、最近の晩婚化は次第に顕著となり、現在不妊外来に通ってこられる患者さんの4割以上が37歳を超えており、妊娠困難例が増加していることがこの地域でも同様の傾向となっているようです。また、男性不妊も増加しています。やはり20年30年前とは明らかに不妊症を取り巻く様相が変化してきています。

### 当院の不妊外来のコンセプトとして

- ① なるべく保険診療を多くすること
  - ② 系統的な不妊検査(※注1)を行って患者さんの経済的負担を少なくすること
  - ③ 仕事を持っておられて土日しか来院できない患者さんはなるべく日曜・休日に診るようにすること
  - ④ 不妊治療に自費診療でしかできないもの、たとえば人工授精や体外受精等の価格を全国平均の半分以下に抑えること
  - ⑤ 当院が高知で最初に導入した不育症に対する低容量アスピリン療法、ヘパリン持続投与を習慣性流産に対して積極的に行うこと
  - ⑥ 妊娠した患者さんにはできる限り当院で検診、胎児異常を早期に見つけること  
流産・早産をなるべく減少させること  
また妊娠中毒症等の母体異常を起こさせないこと
- 当院で検診を行った妊婦さんが早産となるケースは極めて少ないと思われま  
す。(※注2)  
また不幸にも胎児異常があった場合も  
出生前診断を確定できていること

- ⑦ 妊娠前の手術療法が必要となった場合も、卵管・卵巣・子宮の妊孕性(妊娠力)の保持に十二分に気をつけること
- ⑧ 手術や体外受精等侵襲的な治療は麻酔科医師、手術室スタッフと十分な協力をし、安全性を確保すること
- ⑨ 治療の偶発症、例えば腹水胸水と共に卵巣が腫大し脳梗塞や心不全の原因となる卵巣過剰刺激症候群に留意し、発生した場合に適切な治療を早期に行うこと
- ⑩ 治療や検査で腹膜炎等の感染症を起こさないよう衛生面に十分留意すること
- ⑪ 不妊の原因、根本的治療を行って、再治療の必要なく二度目三度目以上の妊娠が期待できるようにしておくこと

以上11のコンセプトで20年以上に渡って診療を続けてまいりました。開設以来高知県内で評価をされています。

### 不妊治療をもっと身近に

不妊症とは、結婚2年以上経過しても妊娠に至らないものですが、男女様々に原因があり、女性には子宮因子、卵巣因子、卵管因子、腹膜因子、免疫因子、内分泌や膠原病等の全身的な因子等があります。男性因子としては、乏精子、精子無力症等の精子因子、性交障害、精索静脈瘤等の外的因子、内分泌肝障害等の全身因子があり、その不妊因子の原因をつかみ治療を行い、妊娠に至らない場合はステップアップした治療を何段階かで行っていくものです。

最後に体外受精を行っていますが、この治療は卵巣を穿刺し卵子を体

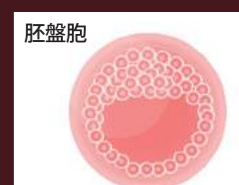
外に取り出し受精させ子宮内に戻すといった方法です。写真①は手術室で採卵しているものです。

### 【受精卵のイメージ図】

2前核期、2細胞期、4細胞期、8細胞期となったもの  
当院では8細胞期に子宮内に移植することが多いですが、症状によっては胚盤胞というかなり分割した状態で子宮移植することもあります。

近年少子化対策で不妊治療に対して補助金が出るようになり、経済的負担が軽減される場合があり、時間とお金がかかるといった過去の評判が無くなりつつあります。確かに不妊治療を受ける方は、30年前にはハイソサイエティの人々しかいませんでしたが、最近では社会的基盤の充実と社会の経済力の向上によりほとんどのの方が治療を受けられるようになってきました。しかし、最大の少子化対策は晩婚化対策を含めた婚姻対策と思われます。

※注1：下垂体検査・子宮卵管造影検査・黄体機能検査・精液検査など系統的で基礎的検査  
※注2：丹念に妊婦検診を行うことで早産・流産の発生を減らし、早産はほとんど起こっていません。



写真①【採卵時写真】



### 不妊・生殖内分泌外来について

【お問い合わせ】  
愛宕病院婦人科外来  
TEL088-823-3301 (代表)  
Mail : info@atago-hp.or.jp  
婦人科外来診療時間内  
午前(月～土) 9:00～11:30  
午後(月～金) 16:00～16:30

# 愛宕病院名誉院長就任にあたって 名誉院長兼集中治療部長 武田 明雄

この3月末に高知医療センター病院長を定年退職し、4月より愛宕病院名誉院長兼集中治療部長としてお世話になっています。

まずは自己紹介ですが、出身は「晴れの国」岡山で、

- 昭和49年岡山大学医学部卒業、麻酔科に入局
- 昭和51年7月から高知県立中央病院に1年間：初めての高知赴任
- 昭和56年4月高知医科大学開院時から10年間勤務
- 平成6年7月から再度高知県立中央病院に赴任
- 平成17年3月県立中央病院と市立市民病院の統合により高知医療センターに移行
- 平成27年3月定年退職 となっています。

医師として約40年になりますが、30年以上を高知で過ごしており、すっかり土佐の風土に馴染んでいます。

専門は麻酔科で、手術室での麻酔業務・集中治療等急性期医療に従事してきました。手術室・集中治療室といった非常に重要ではありますが、院内ではどちらかというと閉鎖的な部署での業務しか知らない私が、高知医療センターで最後の3年間病院長を務めさせていただきました。医療センターという病院だけでなく県内・国内レベルで現在の医療というものを考えることができ、個人的にも有益な3年間であり、おこがましいですが長年住んできた高知県にも恩返しできたと思っています。

愛宕病院に赴任してからまだ日は浅いですが、低侵襲脊椎手術・骨折の整形外科、脳腫瘍・動脈瘤の脳外科、不妊治療、消化器外科等症例も多く、「名誉院長」というより「一麻酔科医」として

本職である手術室麻酔業務に忙しいながらも充実した日々を送っています。今後はもう一つの肩書きである「集中治療部長」としての役目も果たしていきたいと思っています。

また、高知県だけでなく全国的に病院・医療を取り巻く環境は厳しくなっており、次期保健医療計画、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けての病床機能分化(急性期機能は残すべきと思いますが)、病床削減、将来的に都会からの高齢者移住等の課題に対し「名誉院長」としてこれまでの経験を活かされればと思っています。

医療センターの病院長になった時できれば遭遇したくないと思ったことが2つあります。「医療事故を起こした時のマスコミへの謝罪会見」と「南海大地震が起こった時の災害対策本部長」です。なんとか任期中は免れることができたが、南海大地震は必ず起こると言われています。今後はこれまでの経験を活かし、災害への取り組みや災害時の高知県の医療体制の確立に協力していきたいと思っています。

医療センターへの通勤は、花街道、桂浜から高知新港と海岸沿いの道で、いつも津波が来たらどこへ避難しようかと思っていました。今は棧橋通りからはりまや橋を通り高知駅と市の中心を通っていますが、通勤経路全て浸水地域です。地震が起きた時にどこにいるかが生きるか死ぬかの分かれ道ですが、何とか生き残ってもう一働きしたいと思うこの頃です。

より充実した医療と  
災害時の医療体制の  
確立を目指します。

“これまでの経験を活かしたい。  
これからの高知の医療に”



名誉院長兼集中治療部長  
武田 明雄

愛宕病院院長  
内海 善夫

## 健康ワンポイント 熱中症に注意

名誉院長兼集中治療部長 武田 明雄



### 夏は昼夜・室内外問わず熱中症への注意が必要 熱中症対策の基本を覚えておきましょう

一昨年は高知でも江川崎で気温41度を記録し「日本一」と話題となりましたが、近年の夏の猛暑は高齢化社会が進む中での熱中症患者の増大が問題となっています。

熱中症予防のポイントとしては、

#### 1 気温・湿度のチェック

熱中症は高温・多湿の環境が原因ですので、気温と湿度のチェックを怠らず、室内では、エアコンや扇風機で環境を整えることが必要です。高温環境を示す数値は「暑さ指数」を参考にするようにします。気温・湿度・輻射熱から算出する指数で、夏になると毎日予報がでますので、気にかけて服装などを決めると良いでしょう。

#### 2 こまめな水分・塩分補給

暑い時は、目に見えなくても多量の発汗により、水分を失います。喉の渇きを感じる前に、こまめに水分を補給することが必要です。特に運動や労働時は、注意が必要で、体を動かしている時は、頻回に休憩をとり、水分だけでなく塩分(塩や梅干し等)を補給しましょう。

#### 3 暑い中での無理な運動を避ける

運動時は熱中症のリスクが高まります。最も暑い時間の活動を避け、運動時間を短縮するなど、リスク管理が必要です。普段より多く休憩をとるようにして、体調によっては、中止しなければいけません。特に運動経験が少ない人は、リスクが高まります。暑い時に急に運動を始めるよりも、日頃から運動をし、体を慣れさせておく必要があります。

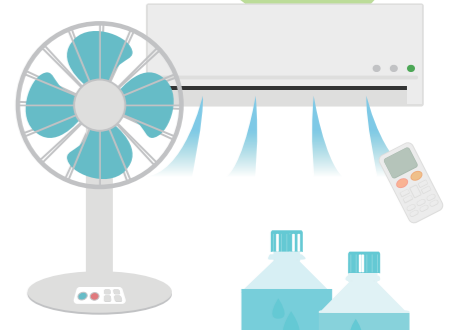
#### 4 服装

吸水性や速乾性に優れている通気性の良い素材を選ぶようにしましょう。体を締め付けすぎないように気をつけ、熱を逃す工夫をします。淡い色の方が暑さを吸収しにくいので、白などの色を選ぶようにして、帽子や日傘で日差しを遮るようにします。

#### 5 体調管理

疲労や体調不良が、熱中症の発生リスクを高めます。寝不足や食生活が乱れないように、日頃から体調管理を怠らないようにすることが大切です。特に高血圧、糖尿病、認知症等の持病を持つ高齢者には注意が必要です。いずれにしても、めまい、立ちくらみ、生あくび、筋肉痛、頭痛、嘔吐等の症状があれば応急処置をしながら、早期に医療機関の受診が必要です。

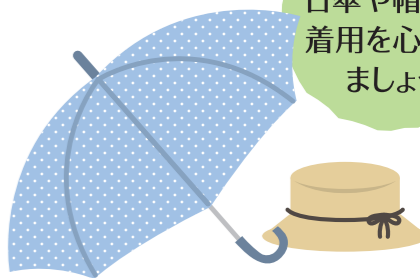
エアコンや扇風機で適切な温度環境を整えましょう



こまめに水分補給を運動時には塩分を



外出時には日傘や帽子の着用を心がけましょう



熱中症対策はもちろんですが日頃の体調管理が大切疲労や寝不足のない生活を心がけましょう



健康ワンポイント

# 各課・各部の紹介

## 愛宕DMAT

### DMAT(ディーマツト)ってなに?

DMATとは「Disaster Medical Assistance Team」(災害派遣医療チーム)の頭文字を略したものです。  
DMATは、医師、看護師、業務調整員(医師、看護師以外の医療職及び事務員)で構成され、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性をもった専門的な訓練を受けた医療チームです。

### 愛宕DMATの活動

愛宕病院は二次救急病院(※注)であり、災害時は救護病院として活動しなければなりません。当院では今後30年以内に70%の確率で発生するといわれている南海地震に備え、平成21年に日本DMATを1チーム発足しました。発足後、平成23年の東日本大震災では茨城県にて活動しました。今後もいつ起こるかかわからない災害に備え、愛宕DMAT全隊員が県内外の広域搬送訓練、ブロック別実働訓練、技能維持研修に参加し自己研鑽に努めています。また、隊員が研修等で得た経験や知識を活かし、全職員に対し院内研修(災害時初期活動研修、災害看護等)を行い、減災教育に努めています。

※注:入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療



写真:今年6月7日(日)に開催された「高知県総合防災訓練」への参加時の様子



### 愛宕DMAT目標

#### 1 DMAT関連の研修、実働訓練には可能な限り参加し、自己研鑽に努める。

- ・四国DMAT連絡協議会、高知県総合防災訓練等へチームとして参加する。
- ・日本、高知DMAT資格保持者は高知DMAT研修、エマルゴ演習等へスタッフとして参加する。

#### 2 研修、実働訓練で得た知識、技術を活かし院内において研修を行い、病院職員に対し知識の向上に努める。

- ・病院研修として災害時の活動やトリアージについて等の研修を愛宕DMAT隊員がおこなう。

#### 3 高知DMAT、日本DMATへの理解を深めることによってチームの増員を図る。

- ・院内研修としてDMATの理解を深める研修を愛宕DMAT隊員がおこなう。
- ・院内にて希望を募り、1チーム編成し高知DMAT研修に参加する。
- ・高知DMAT資格保持者は個人枠で日本DMAT研修に参加する

#### 平成26年度愛宕DMAT研修及び訓練の実績(院外)

5/10-11	高知DMAT研修(高知医療センター)
6/1	高知県総合防災訓練(高知市)
7/5-6	第14回四国DMAT連絡協議会、平成26年度第1回中国・四国ブロックDMAT技能維持研修(徳島県)
7/19	エマルゴ研修(高知医療センター)
9/5	高速道路災害図上訓練(ぎばさんセンター)
9/28	災害医療対策中央地区公立病院連絡会 トリアージ訓練(土佐市民病院)
11/29	高知県広域医療搬送訓練(安芸市営球場ほか)
1/31-2/1	第15回四国DMAT連絡協議会 四国ブロックDMAT実働訓練
	災害医療ロジスティック研修(香川県)
2/20	災害医療情報伝達訓練(県及び各市町村等)

#### 平成26年度愛宕DMAT研修及び訓練の実績(院内)

3/31	災害発生時の初期対応研修(全職員対象)
6/25	災害発生時の初期対応研修(全職員対象)
9/22	災害発生時の初期対応研修(全職員対象)
10/27	看護部院内研修、災害看護(看護師、補助者、リハビリ対象)
12/16	災害発生時の初期対応研修(全職員対象)
3/24	看護部新人研修、災害看護(卒後対象)
3/27	トリアージ訓練(院内受付対象)



### 平成26年度 愛宕DMAT活動について

表にある通り、昨年度はさまざまな訓練や研修に参加しました。第14・15回四国DMAT連絡協議会、DMAT技術維持研修、災害医療ロジスティック研修にはチームとして参加し、チーム内の結束を深めることができました。高知県総合防災訓練などチームで参加できない訓練・研修には、スタッフとして参加することにより、技術・知識の向上を図ることができました。それらの研修・訓練での学習を活かし、院内において災害に関する意識の向上に努めるべく全職員を対象にした研修会を行いました。周知徹底には更なる努力が必要だと感じられました。また、平成26年度には隊員を増員することができませんでした。そのためには、やはり災害に対する意識を高めていく必要があると思われます。平成27年度には2名の加入があり、早速訓練等に参加することができています。今後も院外の災害研修への受講者を増やすべく、職員にアピールしていきたいと思っています。

# 活動報告

委員会活動の一環として、各種研修会・勉強会なども行っています。その一部を紹介しましょう。

### 医療安全セミナー

2015年5月27日、6月1日、6月24日開催

医療安全室の岡村奈緒主任を講師に全職員対象に行いました。今回は次のような内容で行われました。ミスのない医療の大切さ、インシデントとアクシデント、レポート報告制度と記載方法について、安全を支える医の心、コミュニケーションの大切さ、新たに作成した「内服薬と葉手順書」についてなど。いずれの日も勤務時間終了後でしたが、多くの職員が参加しました。当院では、基本理念でもある患者本位を第一に考える最良の医療を目指し、医療事故を未然に防ぐことを目的として、年間を通して医療安全対策セミナーを行っています。



### 脳神経外科講演会

2015年5月15日開催

委員会活動とは別に院外から講師をお招きして、脳神経外科講演会も開催されました。今回の講師は、福岡県にある新小文字病院脳神経センター長の増田 勉医師です。テーマは「ぜったい役立つ脳外科看護」。脳外科の急性期をみるための観察ポイントなど、具体的な症例をもとに講義形式でお話いただきました。初歩的なことから大切なポイントをわかりやすくお話しくださいました。VTRなどを使用したユニークで飽きさせない演出に聴講者は引き込まれ、あっという間の有意義な90分となりました。



## 愛 LOVE クッキング

### 旬の食材で夏バテ防止

栄養科 管理栄養士 門脇亜弥



1人分 30kcal 塩分1.0g

## 蒸し茄子の梅じゃこ和え

夏野菜を手軽においしく

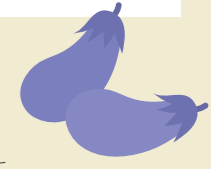
#### 材料と作り方(4人分)

- ナス 4個
- ちりめんじゃこ 大さじ2
- かいわれ大根 1パック
- トマト 1個
- 梅肉 2個分
- しょうゆ 小さじ2

- 1.ナスは縦に5~6本の浅い切れ目を入れて1個ずつラップで包み、電子レンジで約2分加熱する。粗熱をとって食べやすい大きさに裂いて2等分に切りボウルへ入れる。
- 2.トマトは角切り、かいわれ大根は長さを3等分に切って、ボウルへ加える。
- 3.梅肉、ちりめんじゃこ、しょうゆを加えて混ぜ合わせる。

#### 茄子

カリウムやナスニンというポリフェノールが含まれます。カリウムはナトリウムを体外に排出するので高血圧予防に。ナスニンは活性酸素の攻撃や過酸化脂質の生成を抑えて癌や老化を防ぐ効果があります。



ナスの皮には「ナスニン」といわれる成分が含まれます。皮はむかずに食べましょう



門脇亜弥

## 外来診療時間 一覧表

診療科	午前(月～土)	午後(月～金)
内科	9:00～12:00	13:30～17:00
外科	9:00～12:00	14:00～17:00
整形外科	9:00～12:00	
脳神経外科	9:00～12:00	13:30～17:00
婦人科	9:00～11:30	16:00～16:30
リハビリテーション科	9:00～12:00	(水曜日休診)
眼科	9:00～12:00	13:30～17:00
心療内科・精神科	9:00～12:00	13:30～17:00
泌尿器科	9:00～11:30 (火曜日のみ)	14:00～16:00 (火曜日のみ)
耳鼻咽喉科	9:00～11:30 (月・土)	14:00～17:00 (水・木)
ER蘇生センター	24時間対応	
脳神経センター	24時間対応	

※各科診療日については、あらかじめお電話にて確認の上ご来院ください。  
※愛宕病院ホームページにも掲載されています。ご覧ください。

## 休診日:日曜日・祝日

※但し、急患は休診日・深夜も24時間診療します



## 編集後記

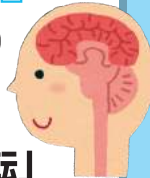
梅雨のことを土佐弁で「長雨(ながせ)」※注 といいます。最近ではあまり聞かれなくなりましたね。長かったその「ながせ」も明け、今年も暑い夏がやってきました。昨年の高知は8月の降雨の無い日が1日だけでしたが、さて今年は…?台風などで被害がないことを祈るばかりです。表紙の写真のように爽やかなお天気が続くといいですね。とはいえ、水がめや畑などには雨も適度に必要です(^.^);  
みなさんも熱中症などには十分お気をつけになってくださいね!

※注:四国や九州の一部でも使われる方言だそうです。

## 『21世紀の最新脳神経外科治療』

～脳を守ろう脳ドックのすすめ～

日時:2015年9月27日(日) 12:30～16:30  
場所:高知県民文化ホール オレンジホール



### 1 「脳ドックで見直す生活習慣と安全運転」

高知検診クリニック脳ドックセンター長  
(愛宕病院脳神経外科非常勤) 朴 啓彰 医師

### 2 「脳神経センターの役割 ～予防から先端医療まで～」

愛宕病院脳神経センター長  
溝渕 光 医師



福島 孝徳 医師

### 3 「21世紀の最新脳神経外科治療 ～脳を守ろう 脳ドックのすすめ～」

愛宕病院脳神経センター最高顧問 福島 孝徳 医師

## 【応募方法】

下記見本を参考に往復はがきでお申し込みください。

①郵便番号②住所③申込者名④電話番号⑤参加者全員の氏名、年齢(4名まで)  
【申し込み締め切り】8月31日(到着分まで)

780-0072	高知市杉井流19番2号 株式会社歳時記屋内
市民公開講座事務局行	

※こちらの面は何も記入しないでください

①郵便番号	②住所
③申込者名	④電話番号
⑤参加者全員の氏名、年齢(4名まで)	

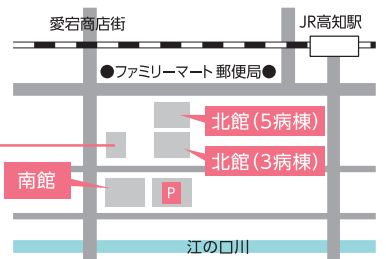
※お申し込みにより得た個人情報、その他の目的で使用する事はありません。

## 【送付先/申し込みに関するお問い合わせ】

〒780-0072高知市杉井流19番2号 市民公開講座事務局(株式会社歳時記屋内)

## 【お問い合わせ】

愛宕病院 広報担当 TEL:088-823-3301 / FAX:088-871-0531  
Mail: shogai02@atago-hp.or.jp



受付は南館玄関を  
入って左



医療法人 新松田会

# 愛宕病院

〒780-0051 高知市愛宕町1丁目1番13号

TEL (代表)088-823-3301 救急専用 088-822-0009

FAX 088-823-3306 (外来受付) Mail: info@atago-hp.or.jp

愛宕病院 検索  
http://www.atago-hp.or.jp/